

第121号

まちのくすりやさん

今回のおはなし

「成分まとめて薬を減量 配合剤」

「無煙たばこ スムース」



成分まとめて、薬を減量 配合剤

複数の持病を持つ高齢者は、一度に10種類以上の薬を飲むことがあります。「薬の量のご飯より多い」と冗談めかす人もいるほどです。大量の薬が副作用のリスクを増やし、患者の闘病意欲をそいでしまう側面も否定できないと、薬が多いことによる「副作用」を心配する先生もいます。

薬を減らす目的で開発されているのが、2種類以上の薬の成分を一つにまとめた「配合剤」です。通常の薬は錠剤やカプセル1個に1種類の成分が含まれているのに対し、今では3種類の成分を1個にした配合剤もあります。配合剤なら、飲み薬の分量は半分や1/3で済みます。たくさんのお薬の封をきる手間も省け、飲み忘れや飲み違いも減ると考えられます。

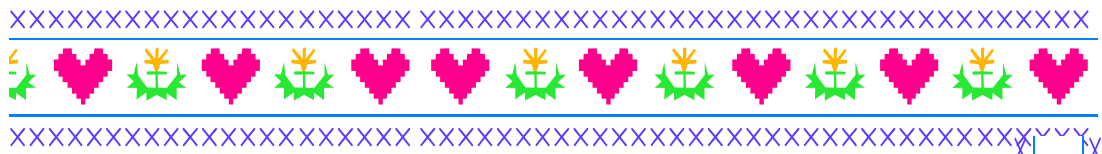
配合剤でよく処方されているのは、高齢者が飲むことが多い高血圧の薬です。血管を広げて血圧を低下させる薬などを混ぜて効果を高めています。また、血管を広げる薬と利尿薬の組み合わせも多いのは、血圧を下げる作用が大きくなることがわかっているためです。

配合剤の使用には、注意が必要です。配合剤は確かに便利ですが、薬の重複投与のリスクが高まってしまう恐れがあります。重複投与とは、1人の患者に同じ成分の薬を重ねて処方してしまい、薬が効きすぎてかえって健康を害するという事です。具体的には、「血圧の低下」の成分が入った配合剤を飲んでいる患者に、血圧を下げる薬が追加で処方された場合、血圧が下がりすぎて、命が危険になることもあります。

重複投与の防止は、以前から使われている薬なら難しくないですが、配合剤は歴史が浅いゆえに「ハードル」があります。新しい配合剤が次々に登場しているため、薬剤師は、成分を確認して問題が起きないかチェックしないとイケません。重複を防ぐ手段として、お薬手帳の活用を勧めています。服用して気になる症状があれば、お薬手帳にメモをしておき、診察時に医師に見せれば確実に伝えられます。災害時にもメリットがあり、昨年の熊本地震や東日本大震災などの災害時では、お薬手帳があれば、医師の処方なしに医薬品を提供できる緊急措置がとられました。

お薬手帳は、患者さん自身のためになりますので、ぜひ常に携帯するようにして下さい。

代表的な配合剤	成分		
高血圧 (ミカトリオ配合錠)	アムロジピン (血管を広げ、血圧を下げる作用がある)	テルミサルタン (血管を広げ、血圧を下げる作用がある)	ヒドロクロロチアジド (利尿薬)
高血圧・脂質異常症 (カデュエット配合錠)	アトルバスタチン (コレステロールを下げる)	アムロジピン (血管を広げ、血圧を下げる作用がある)	
糖尿病 (グルベス配合錠)	ミチグリニド (インスリンの分泌を促し、血糖値を下げる)	ボグリボース (糖分の生成を抑え、血糖値の上昇を抑える)	
抗アレルギー薬 (ディレグラ配合錠)	フェキソフェナジン (ヒスタミンの働きを抑え、アレルギー症状を軽減する)	塩酸ブソイドエフェドリン (血管を収縮して鼻づまりを軽減する)	
抗血小板薬と胃薬 (タケルダ配合錠)	アスピリン (血小板の働きを抑え、血液が固まるのを防ぐ)	ランプラゾール (胃酸の分泌を抑え、胃の粘膜を守る)	
鎮痛薬 (トラムセット配合錠)	トラマドール (痛みを抑える)	アセトアミノフェン (痛みを抑える)	



無煙たばこ・スヌースの健康影響について

近年、たばこ製品である無煙たばこの使用が世界的に広がってきていることに警鐘を鳴らす動きが出てきており、平成25年8月30日に、日本学術会議が「無煙タバコ製品（スヌースを含む）による健康被害を阻止するための緊急提言」（平成25年8月30日日本学術会議健康・生活科学委員会・歯学委員会合同脱タバコ社会の実現分科会。以下「日本学術会議提言」という。）を公表しました。

無煙たばことは、製品を燃焼させることなく使用するたばこ製品であり、スヌースを含む嗅ぎたばこ、ガムたばこを含む噛みたばこなどの形態があります。

具体的には、口腔内や唇・頬と歯肉の間に留置し、吸引したり噛むなどの方法を以て使用する製品や、鼻腔より細かいたばこ混合物を吸入・吸収するなどの方法を以て使用する製品が存在します。

無煙たばこに関しては、他のたばこ製品と同様、使用者への健康影響が指摘されています。具体的には、無煙たばこは30種類近くの発がん性物質を含み、ヒトに対する発がん性のある「グループ1発がん物質」に分類されることが、IARC（国際がん研究機関）により示されています。また、無煙たばこは依存性物質であるニコチンを含み、その使用による依存形成の病的機序や離脱症状は喫煙によるものと同様であり、特に、スヌースに関しては、口腔粘膜や鼻腔粘膜からのニコチンの吸収速度が速く、依存に陥りやすいことが、日本学術会議提言において指摘されています。

つきましては、関連情報を厚生労働省ホームページに掲載しております。

（参考；<http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/muen/>）

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課長通知より



こまめな水分・電解質補給で熱中症対策！

汗には水分だけではなく、ナトリウムなどの電解質（イオン）も含まれています。水分補給には、イオン飲料がおすすめです。

（一社）浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812（月～金：10～15時）

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>